

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
経営学入門	共通	1年生・前期	2単位	必修	丑山 優
履修の前提条件	両学科履修必修				
授業概要 (Course Outline)					
<p>経営学が、「学」として成立したのは、ヨーロッパにおいても「経営経済学・私経済学」として1870年代であり、アメリカにおいても「経営管理」を体系化する形の1900年代であり比較的新しい学問領域である。ともにそれまでの自由競争的な産業資本主義から、巨大産業企業・巨大シンジケートが生じたより高次の資本主義への移行期でもあった。企業経営はそれまでと比べ次元を異にする複雑な組織へと変化した。同時に人々の生活にも企業の影響力が増し、企業社会を抜きには生活行動を語れなくなっている。「経営学入門」では、企業と社会についての基本的な視点から講義を行う。</p>					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
	問題解決力 Problem Solving				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				○
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
<p>1. 生活者として企業との関わり方、近現代における企業の発展の歴史、企業のもたらす社会への負の影響の側面の理解。2. 企業を取り巻く大きな環境の変化の理解。3. 個人個人が、企業との関わりでどのようにセルフコントロールしていくかの理解。</p>					
事前学習の内容	予め講義する箇所について読んでおくこと。				
事後学習の内容	講義について理解したこと、理解できなかったことについて翌週にレポート提出。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
<p>日頃から経済・企業ニュースに関心を持つこと。最低1コマを使って図書館でテーマを設定してグループディスカッションか個人で文献を調べてレポートを作成する。</p>					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
<p>オフィスアワーの時間に研究室にて随時受け付けます。出来れば前もってメール等で予約を入れてください。</p>					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
<p>外部試験については、現在適切なものが見当たらないので、成績評価には影響しない。定期試験については、日頃提出しているレポートの内容、提出回数・ディスカッションなども考慮して総合的に評価判断を行う。ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。</p>					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	授業の方針、テキストの前期における範囲、各章の最後にある「まとめ」の記入方法、などを説明。		
第2回	企業とかかわる生活者としての定義、ビジネス化の理解。		
第3回	企業によるライフスタイルの革新		
第4回	変わるワーク、地域社会の発展とCSR		
第5回	起業家精神、行政の役割の変化		
第6回	企業中心主義の弊害、環境問題		
第7回	日本企業の発展過程		
第8回	日本企業の発展過程Ⅱ		
第9回	単一の国際市場と「国際的大競争時代」、規制緩和と市場原理		
第10回	図書館で、ITのインパクトについて「グループ・ディスカッション」か、個人で文献を調べる。		
第11回	CSRを前提にした利益の追求の仕方・考え方		
第12回	男女共生の多様なプロ・エキスパートの仕事の有り様		
第13回	環境保全型経営の有り様と実際		
第14回	個々人の働き方、職業能力、自己管理能力の有り様		
第15回	14回までの講義内容のまとめ、質問受け		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『経営学入門』	片岡信之 他	文真堂ブックス	978-4-8309-4608-0
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『金融ヘゲモニーとコーポレート・ガバナンス』	丑山 優 他	税務経理協会	
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
期末試験、レポートおよびディスカッションなどを勘案して総合的に評価する。			